



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月8日

上場会社名 株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス

上場取引所 東

コード番号 6879 URL <https://www.imagicarobot.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚田 真人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 企画部・経営管理部 担当 (氏名) 森田 正和

TEL 03-6741-5742

四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	64,464	6.5	1,646	131.1	1,721	63.7	2,197	136.3
29年3月期第3四半期	60,552	27.7	712		1,051	902.0	929	168.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,796百万円 (%) 29年3月期第3四半期 845百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	49.36	
29年3月期第3四半期	20.88	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
30年3月期第3四半期	66,671		32,340		43.3	
29年3月期	68,207		29,941		38.6	

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 28,869百万円 29年3月期 26,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		10.00	10.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	2.8	2,000	1.9	2,000	0.7	2,400	40.6	53.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(参考) 通期の営業利益には、費用としてのれん等償却費約14億円が含まれています。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社IMAGICAティーヴィ

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	44,531,567 株	29年3月期	44,531,567 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	108 株	29年3月期	108 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	44,531,459 株	29年3月期3Q	44,531,459 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、輸出・生産活動が緩やかな回復が続きました。消費については、堅調な雇用・所得情勢を背景にして堅調に回復しております。このような環境の下で、当社グループは、映像ビジネスにおいて幅広い事業展開を行い、グループの総合力を発揮し、収益力及び財務体質を強化することに取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は644億64百万円（前年同四半期比6.5%増）、営業利益は16億46百万円（前年同四半期比131.1%増）、経常利益は17億21百万円（前年同四半期比63.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億97百万円（前年同四半期比136.3%増）を計上いたしました。

なお、株式会社IMAGICAティーヴィの全株式を平成29年4月3日付で譲渡したことにより、関係会社株式売却益として特別利益21億77百万円を計上いたしました。

②セグメント別の業績

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の6区分から、「映像コンテンツ事業」（従来の「映像ソフト事業」）、「映像制作サービス事業」（従来の「映像技術サービス事業」ならびに「人材コンサルティング事業」）、「メディア・ローカライゼーション事業」「映像システム事業」の4区分に変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の報告セグメントに組み替えた数値で比較しております。

（従来の「放送事業」につきましては、その中核会社であった株式会社IMAGICAティーヴィを平成29年4月3日付で売却したことで、廃止いたしました。）

1)映像コンテンツ事業

当第3四半期連結会計期間において映画作品の売上計上が前年と比較して増加したことやプロジェクトマッチング映像、音楽Live関連映像の制作が好調に推移し、売上高増に大きく貢献いたしました。第1四半期連結会計期間における映画配分金収入が前年と比較して減少したことにより営業利益については、前年同四半期比1億22百万円減少しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当該事業の業績は、売上高は175億23百万円（前年同四半期比19.0%増）、営業利益は7億3百万円（前年同四半期比14.9%減）となりました。

2)映像制作サービス事業

番組改編等に伴う受注減によりテレビ分野とCM分野のポストプロダクションについては前年比減収となったものの、映像配信プラットフォーム向けのエンコードやローカライズサービスと、デジタルシネマサービスが前年と比較して大きく増加し、売上、営業利益増に貢献しました。

人材紹介事業は増収となった反面、人材派遣事業については派遣人員の減少により減収になりました。また、業務請負型のCG制作及びデバッグ事業は売上が拡大しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当該事業の業績は、売上高は203億60百万円（前年同四半期比7.9%増）、営業利益は9億12百万円（前年同四半期比21.0%増）となりました。

3)メディア・ローカライゼーション事業

同事業においては業績が大きく改善しました。映像配信プラットフォーム向けのビジネスが好調に推移し、増収の大きな要因となりました。欧州におけるダイレクトマージン率改善と前年同四半期に発生した販売費・一般管理費の一時的費用が減少したことで営業損失も大きく改善しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当該事業の業績は、売上高は180億49百万円（前年同四半期比17.7%増）、営業損失は3億62百万円（前年同四半期は営業損失12億4百万円）となりました。

なお、当該事業の業績につきましては、SDI Media Group, Inc. とその子会社の決算日が12月31日であるため、当第3四半期連結累計期間には平成29年1月1日～平成29年9月30日の9ヶ月間の実績を反映しております。

4) 映像システム事業

プロ用映像機器分野においては、放送局の中継分野でのHDから4Kへの移行需要増加による輸入システムの販売増や自社開発テロップシステム、保守サービスの受注増等により、好調に推移いたしました。

また、LSI開発分野においては、中国向けの映像・画像処理LSI出荷が増加したことで、売上、営業利益増に貢献いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当該事業の業績は、売上高は96億20百万円（前年同四半期比15.0%増）、営業利益は6億35百万円（前年同四半期比70.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1億55百万円（0.4%）増加し、388億61百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が減少した一方で、現金及び預金等が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて16億91百万円（5.7%）減少し、278億9百万円となりました。

これは主に、繰延税金資産の減少によるものであります。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて15億36百万円（2.3%）減少し、666億71百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて13億51百万円（5.6%）減少し、229億22百万円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて25億83百万円（18.5%）減少し、114億8百万円となりました。

これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて39億35百万円（10.3%）減少し、343億30百万円となりました。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ23億98百万円（8.0%）増加し、323億40百万円となりました。

これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の業績予想につきましては、平成29年11月7日に公表した数値を変更しております。詳細につきましては、本日（平成30年2月8日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,716,936	9,855,286
受取手形及び売掛金	17,648,525	14,766,571
たな卸資産	9,909,273	11,045,048
繰延税金資産	929,336	617,920
その他	1,561,625	2,635,940
貸倒引当金	△59,198	△58,985
流動資産合計	38,706,498	38,861,781
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,811,609	13,067,208
減価償却累計額	△8,847,787	△9,235,908
減損損失累計額	△91,165	△77,124
建物及び構築物(純額)	3,872,655	3,754,175
機械装置及び運搬具	12,833,473	12,268,159
減価償却累計額	△12,474,498	△11,965,789
減損損失累計額	△125,560	△117,358
機械装置及び運搬具(純額)	233,414	185,012
土地	2,943,085	2,943,085
建設仮勘定	79,696	35,532
その他	6,202,713	6,197,387
減価償却累計額	△3,608,336	△3,706,902
減損損失累計額	△39,379	△7,609
その他(純額)	2,554,998	2,482,876
有形固定資産合計	9,683,850	9,400,682
無形固定資産		
ソフトウェア	1,380,473	1,207,619
のれん	7,203,768	6,499,612
その他	4,422,632	3,897,131
無形固定資産合計	13,006,874	11,604,363
投資その他の資産		
投資有価証券	3,718,646	4,880,916
関係会社株式	475,571	540,432
敷金及び保証金	1,186,175	1,106,275
繰延税金資産	1,137,903	59,214
その他	482,494	442,570
貸倒引当金	△190,640	△224,966
投資その他の資産合計	6,810,152	6,804,442
固定資産合計	29,500,876	27,809,488
資産合計	68,207,375	66,671,270

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,722,108	5,441,296
短期借入金	4,793,499	4,583,573
未払金	3,234,345	3,505,906
未払法人税等	1,235,608	562,480
賞与引当金	1,394,256	658,772
変動役員等報酬引当金	113,707	72,162
受注損失引当金	92,734	152,290
その他	6,687,338	7,945,857
流動負債合計	24,273,600	22,922,339
固定負債		
長期借入金	8,735,073	6,609,380
長期未払金	216,815	618,162
繰延税金負債	1,036,147	1,183,358
退職給付に係る負債	2,070,931	1,226,348
その他	1,933,232	1,771,211
固定負債合計	13,992,200	11,408,460
負債合計	38,265,800	34,330,799
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,244,915	3,244,915
資本剰余金	15,189,280	15,190,196
利益剰余金	7,256,468	9,009,030
自己株式	△42	△42
株主資本合計	25,690,622	27,444,099
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,080,094	1,900,680
土地再評価差額金	△17,933	△17,933
為替換算調整勘定	△443,718	△462,003
退職給付に係る調整累計額	4,308	4,451
その他の包括利益累計額合計	622,752	1,425,195
非支配株主持分	3,628,199	3,471,175
純資産合計	29,941,574	32,340,470
負債純資産合計	68,207,375	66,671,270

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	60,552,670	64,464,904
売上原価	42,572,003	47,038,039
売上総利益	17,980,667	17,426,864
販売費及び一般管理費	17,267,878	15,779,940
営業利益	712,788	1,646,924
営業外収益		
受取利息	4,345	3,218
受取配当金	51,754	34,406
持分法による投資利益	42,557	39,860
為替差益	182,440	26,233
その他	188,765	111,780
営業外収益合計	469,863	215,499
営業外費用		
支払利息	106,444	117,322
その他	24,560	23,181
営業外費用合計	131,004	140,503
経常利益	1,051,647	1,721,919
特別利益		
固定資産売却益	287,933	5,280
段階取得に係る差益	190,403	—
関係会社株式売却益	—	2,177,929
その他	20,492	—
特別利益合計	498,829	2,183,210
特別損失		
固定資産売却損	2,650	183
固定資産除却損	36,169	13,946
減損損失	21,837	14,139
関係会社株式評価損	187,324	—
労働災害関連損失	—	88,809
その他	46,499	87,432
特別損失合計	294,481	204,512
税金等調整前四半期純利益	1,255,994	3,700,617
法人税等	774,798	1,672,092
四半期純利益	481,195	2,028,524
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△448,787	△169,351
親会社株主に帰属する四半期純利益	929,983	2,197,876

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	481,195	2,028,524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	140,940	820,317
繰延ヘッジ損益	1,004	—
為替換算調整勘定	△1,487,008	△52,086
退職給付に係る調整額	18,155	142
その他の包括利益合計	△1,326,908	768,373
四半期包括利益	△845,712	2,796,898
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	323,875	3,000,319
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,169,588	△203,421

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	映像 コンテンツ	映像制作 サービス	メディア・ロー ライゼーショ ン	映像 システム	計
売上高					
外部顧客への売上高	14,690,117	18,228,002	15,257,909	7,976,955	56,152,985
セグメント間の 内部売上高又は振替高	34,097	649,165	71,829	388,037	1,143,130
計	14,724,215	18,877,168	15,329,738	8,364,993	57,296,115
セグメント利益又は 損失(△)	826,225	754,352	△1,204,467	373,238	749,349

(単位：千円)

	その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高			
外部顧客への売上高	4,315,749	83,936	60,552,670
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,728	△1,144,858	—
計	4,317,477	△1,060,922	60,552,670
セグメント利益又は 損失(△)	214,249	△250,809	712,788

(注) 1. 「その他」の区分には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、売却した子会社の情報を表示しております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△250,809千円は、持株会社(連結財務諸表提出会社)等に係る損益1,097,209千円及びセグメント間取引消去△1,348,019千円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 サービス	メディア・ロー カライゼー ション	映像 システム	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	17,377,352	19,864,977	17,792,428	9,322,736	64,357,495	107,408	64,464,904
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	145,754	495,586	257,000	298,205	1,196,547	△1,196,547	—
計	17,523,107	20,360,563	18,049,429	9,620,941	65,554,043	△1,089,139	64,464,904
セグメント利益 又は損失(△)	703,368	912,396	△362,961	635,054	1,887,856	△240,932	1,646,924

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△240,932千円は、持株会社(連結財務諸表提出会社)等に係る損益1,023,480千円及びセグメント間取引消去△1,264,413千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は従来「映像技術サービス事業」、「映像ソフト事業」、「放送事業」、「映像システム事業」、「人材コンサルティング事業」及び「メディア・ローカライゼーション事業」の6つを報告セグメントとしておりましたが、平成30年3月期より経営管理体制を変更した事と、平成29年4月3日付で「放送事業」を構成しておりました株式会社IMAGICAティーヴィの全株式を売却した事により第1四半期連結会計期間から「映像コンテンツ事業」、「映像制作サービス事業」、「メディア・ローカライゼーション事業」及び「映像システム事業」の4つを報告セグメントといたしました。

これに伴い、セグメントの業績をより適切に評価するために、セグメント間の費用の配分方法を一部変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」は、変更後の区分に基づき作成したものを開示しており、売却した子会社については変更後の報告セグメントに含まれない事業セグメントであるため、「その他」に区分しております。